

総務常任委員会 所管事務調査 9月12日



完成した防災備蓄倉庫

防災研修センター 平面図(備蓄倉庫2F)

倉庫	防災教育研修室 (パーティションで4分割可能)				洗濯室
階段室	廊下				
	厨房	防災教育研修室	トイレ	手洗シンク シャワー室	手洗シンク シャワー室

建設中の総合体育館北側に建設された防災拠点施設を視察した。

【防災備蓄倉庫】

建屋の1階部分 832㎡に災害時に必要となる資機材、物資等を備蓄する。最大で5,000人3日分の備蓄が可能。非常食や飲料水等消費期限のあるものは循環備蓄を基本とし、購入、備蓄、消費のサイクルを維持し、安定的な備蓄を行う。

【防災研修センター】

建屋の2階部分で、面積は396.8㎡。市民の防災研修のほか、災害時には救助隊の待機場所となる。厨房やシャワー、洗濯機もあり宿泊可能である。

【防災ヘリポート】

面積は17,153.15㎡。災害時及び防災訓練等において、ヘリコプターの離着陸場所として使用する。



総務部長より説明を受ける



2階防災研修センターを視察

人事案件

次の方を適任と

答申しました。

諮問第1号

◎ 人権擁護委員

葛西 弘和さん
(再任)

任期

令和5年1月1日から
令和7年12月31日まで



備蓄倉庫西側に整備されたヘリポート

農業再生特別委員会 行政視察 9月5日



圃場関係者からの説明

本年3月に設置された農業再生特別委員会は、稲垣地区で栽培されている加工用トマトの収穫を視察し、高収益作物としての可能性を調査した。

栽培しているのは県内の企業で、稲垣地区に約7ha作付けしており、収穫した加工用トマトは全量大手飲料メーカー向けということであった。

委員会では、今回の調査結果等を取りまとめ、12月定例会までに市長へ提言する予定である。



トマトの生育状況を確認



機械によるトマトの収穫

防衛省及び総務省へ要望活動 10月6～7日

野呂司議長及び山本清秋基地対策特別委員長は、倉光市長とともに、総務省、防衛省、東北防衛局へ要望活動を行った。

主な要望内容は、米軍車力通信所にXバンド・レーダーが配備されているにもかかわらず、財政的支援が全くない状況の改善を求めるものである。

この要望に対し、防衛省の木村次郎政務官からは「つがる市にとって貴重な財源であると認識している。所管の総務省に思いを伝える」また総務省の中川貴元政務官からは「地域の実情を勘案し検討する」と回答をいただいた。



防衛省木村政務官へ要望



総務省中川政務官へ要望